

ほほえみ

第79号
令和3年
12月



文化祭 を開催しました

CONTENTS

- 文化祭製作の様子…………… P.2
- 敬老会…………… P.3
- 運動会…………… P.4
- 活動報告 …………… P.5
- 託児所ころっころ一む / 職員研修 …………… P.6

岐阜県介護人材育成事業者 認定番号G20054
社会福祉法人 岐協福祉会



第2大洞岐協苑 託児所ころっころ一む

子育て中の方が安心して働けるようにと施設内に併設された無料の託児所「ころっころ一む」は今年の7月から利用が始まりました。お母さんは隣の施設でパート勤務をしているため、出勤時にお子さんを預けています。初めてお母さんと離れることになり、別れるときに泣いてしまうこともありましたが、今では先生とも打ち解けて、目をキラキラさせながら通所しています。室内や庭の遊具で遊んだり、周りを散歩して虫や木の実を拾ってくることも。先生から童謡や昔話を教えてもらい、家でお母さんの知らない歌や昔話をすることもあって、「新しい遊びを覚えてきて嬉しい」との声もいただきました。

職員も「ころっころ一む」の前を通る度に覗いていくぐらい、施設の人気者になっています。



▲働くお母さん

▲シャボン玉を追っかけて！

▲庭でなったみかんを初もぎ！



コロナ禍での職員研修

以前は会場に集まって行っていた職員研修ですが、コロナ禍の現在はZoomなどを使用してオンラインで行っています。職場のPCはもちろん、自宅のPCやスマートフォンを使って受講している職員もいます。初めは慣れないことで手間取ることもありましたが、現在はアプリの操作にも慣れ、スムーズに受講できるようになりました。会場に集合して研修を行うこともありますが、少人数で、間隔をあげ、窓やドアを開放するなどの対策を十分にとり行っています。



編集後記

長らく自粛生活。デイサービスを利用中の皆さまの中にはしばらくお休みされている方もいらっしゃると思いますが、入所されている方にとってもそのご家族にとっても自由に面会ができないことへの寂しさは如何ばかりかと胸中お察しするところです。コロナ感染者が減ってきてはいますが、職員は緊張感が薄れることなく、自由に往来できる日までしっかりと心身のケアに努めてまいります。

お問い合わせ先

大洞
岐協苑

〒501-3124 岐阜市大洞3丁目3番1号
TEL.(058)241-7676(代) FAX.(058)241-7686
E-mail gikyoen@chive.ocn.ne.jp

日野
岐協苑

〒500-8207 岐阜市日野北1丁目2番1号
TEL.(058)245-1212 FAX.(058)245-1222
E-mail hinogikyoen@major.ocn.ne.jp

第2大洞
岐協苑

〒501-3122 岐阜市大洞紅葉が丘6丁目22番地47
TEL.(058)213-3936 FAX.(058)213-3935
E-mail gikyoen02@gaea.ocn.ne.jp

<http://www.gikyoen.jp> スタッフブログ ころっころno部屋もご覧ください♪



文化祭 製作の様子

特養1階
文化祭の作品作りは、各担当職員が利用者さまと知恵を出し合って製作しました。バラエティに富んだ作品が完成し、利用者さまも出来上がった作品にとても満足されていました。



特養2階
習字・塗り絵・全体作品としてイチヨウの木を製作しました。習字が好きで得意な利用者さまは、ご家族に持ってきていただいた習字道具を使い、楽しそうに書いていらっしやいました。イチヨウの木の製作では職員と利用者さまが協力し、笑顔で一糸懸命貼っておられました。



▲皆さまで協力し、イチヨウを作成



▲手作りの秋の味覚

デイサービス
個人製作で「ジュエルアート」という作品を作りました。コロナ禍で日常生活に制限がある中でも、お部屋で見て楽しめる置物です。ガラスの容器に色の付いた砂やビーズ、貝殻やビーズなどを入れて、透明な液体を流し込んで完成。選んだ砂の色や貝殻の種類によって全然違う仕上がりで、個性豊かな作品ができあがりしました。皆さま嬉しそうにお互いの作品に心を奪われていました。



▲海の中のような美しい作品です！

グループホーム
折り紙でたくさんさんの葉っぱを作りました。それを利用者さま全員が協力し、一枚に合わせ掲示物を作りしました。折り紙を折っている際は手が動かん、細かいものが見えん」と話されながらも、葉っぱや花をきれいに折られていました。作ったものを台紙に貼るときには、利用者さま同士で「ここは違うね、ここはこうがいいね」と笑顔で話し合いながら貼って完成させました。



▲笑顔の話し合い

日野岐協苑
共同製作で、秋の壁紙を作成しました。画用紙で作ったもみじとイチヨウの葉にのりを塗る係、貼る係に分かれて、大作を完成させました。個人で製作した自慢の作品たちも文化祭に出品しました。中でも、木の葉ペンダントは玄関前に咲いていた花の葉と紙粘土を使って作成しました。葉の形に沿ってかたどる細かい作業は難しく集中して取り組まれていました。最後は思い思いに色付けて完成。素敵なおペンダントができました。



▲多くの方に見て頂くため、いつもより気合いが入ります！

第2大洞岐協苑
ユニット毎で習字を行い、時期に合わせた文字や好きな言葉を書いたりして楽しまれていました。今まで作成した折り紙や塗り絵もフロアに飾りました。自分たちのフロアを見た後は、ほかのフロアの作品も見に行き、ユニット間の交流ができました。普段関わる機会が少ないため、お話しきっかけになり笑顔で交流されていました。



▲真剣な眼差しです！

敬老会

9月20日・敬老の日、「敬老会」を行いました。大洞岐協苑・第2大洞岐協苑は合同で、日野岐協苑は独自での開催となりました。今年も新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながらご家族や来賓の方々の招待は中止となりましたが、利用者さまはマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保って長寿をお祝いしました。

今年も百歳以上の節目の方も多く、表彰状とお祝いの品を贈ると手を合わせる方や涙ぐまれる方もいらっしや、皆さまに喜んでいただくことができました。昼食には栗入りのお赤飯やてんぷら、茶わん蒸しなどのお祝い膳を用意しました。



- 百歳以上 ……4名(101~102歳)
- 百寿(100歳) ……3名
- 白寿(99歳) ……5名
- 米寿(88歳) ……16名
- 喜寿(77歳) ……10名

お祝い膳の献立は、栗入りのお赤飯、てんぷら、茶わん蒸し、南瓜の煮物、ほうれん草の和え物、桜漬、フルーツ。



鹿野 忠様 大正9年7月20日生まれ (第2大洞岐協苑)

101歳になられました。大変お元気な方で、ラジオ体操や嚙下体操など大きな声で率先して参加してください。また大変フレンドリーな方で、職員や他の利用者さまと楽しくお話しして過ごされています。



南谷 心み糸様 大正11年4月10日生まれ (特別養護老人ホーム)

99歳になられました。入所したばかりで周りの環境に戸惑われる事もありますが、徐々に馴染まれています。特に食堂では周りの利用者さまと仲良く打ち解けられて、会話が弾む姿も見られます。10月からは第2大洞岐協苑に入所されています。



中島 里一様 大正11年5月11日生まれ (日野岐協苑)

99歳を迎えられました。株取引に興味があり、いつも拡大鏡を片手に新聞を真剣に読まれています。長生きの秘訣は報恩感謝の気持ちを大切にすることだそうです。「皆さんも長生きしてください」とお話しされていました。



平林 千代子様 昭和8年11月27日生まれ (グループホーム)

88歳を迎えられました。お話しすることが好きで、毎日職員に声をかけてくださったり、他の利用者さまが一人でおられた時はご自分から話しかけて会話されています。職員一同その笑顔に元氣をいただいています。



白井 日出男様 昭和19年2月10日生まれ (特別養護老人ホーム)

77歳になられました。とても頑張り方で、普段は歩行器を使用されていますが、少し長い距離でも疲れているときでもご自分の足で歩かれます。次は米寿88歳ですね、とお声掛けすると「分かった、頑張るわ」と笑顔でおっしゃっていました。



邦幡 綾子様 昭和19年3月28日生まれ (特別養護老人ホーム)

77歳になられました。とても明るい性格で、デイルームでは他の利用者さまと談笑されている姿が見られます。楽しみにされている息子さんとの面会がコロナ禍で叶わず寂しがられていますが、差し入れを大変喜ばれており、親子の絆を感じました。



運動会

大洞岐協苑

特別養護老人ホーム

1階 (10月20日)

開会式に始まり、選手宣誓や準備体操をして、いざ競技へ。「人形送り」と「玉入れ」を行い、体を動かして利用者さま同士との交流を図ることができました。コロナ禍で行事が減っているため運動会を楽しみにされていた方も多く、笑顔で溢れていました。来年はコロナも収まり、全体での大運動会をできればと思います。

2階 (10月27日)

赤組と白組に分かれて、「玉入れ」「人形送り」「輪投げ」を楽しみました。玉入れでは狙いをしっかりと決めて投げ、入ると「やったー」と喜ばれていました。人形送りでは素早く渡す方やマイペースに渡す方など様々でしたが、皆さまが笑顔で参加されていました。輪投げは3つの輪を全て入れた方もみえ、とても盛り上がりました。

赤組・白組ともに大きな声で応援されている方もいらっしゃり、最初はあまり気が進まなかった方も終わった後には「参加して良かった、楽しかった」と笑顔でした。結果は僅差で白組が勝ち、「やったー！」とバンザイされています。



▼代表選手による輪投げ



▲「ねらってねらってー!」玉入れは真剣です



▲大盛り上がりの人形送り

日野岐協苑

10月7日に入居者さま、12日にシヨートステイ利用者さまの運動会を開催。赤組と白組に分かれて、「玉入れ」「人形送り」「お菓子取り競争」の3競技を行いました。

玉入れと人形送りでは、普段はなかなか見られないような俊敏な動きと真剣な眼差しが見られました。ひもで吊るされたお菓子を手で取るお菓子取り競争では、職員がひもを揺らして妨害。やつのこと取れたときは皆さまとても良い笑顔でお菓子を握りしめていました。結果はどちらも白組が勝利。拍手と歓声に満ちた楽しい運動会となりました。



▲代表者さんによる選手宣誓

第2大洞岐協苑

10月にユニットごとで運動会を開催しました。20日と21日、22日3日連続の日程で、「玉入れ」と「ペットボトルボウリング」を行いました。

玉入れは応援する組と玉入れをする組に分かれて実施。笑顔で応援したり、いっぱい入るように30秒間頑張っている姿が見られました。ペットボトルボウリングは全員が参加できるように大小のボールを用意し、ピンは床とテーブル上にも並べました。上手くピンが倒れたときは、皆さんで喜びながら楽しんでいました。運動会中は雰囲気が出るように「天国と地獄」などのBGMを流したり、各競技に点数をつけることで自分が頑張った証が分かるようにしました。



▲白熱した玉入れ



▲もみじユニットの皆さん

第2大洞岐協苑

夏祭り

8月18日に夏祭りを開催し、利用者さま全員が参加されました。

かき氷は自分でかき氷器を回して作るところから楽しんでいただき、普段の食事にとろみをつけている方にも食べていただけるよう、とろみをつけた氷も用意しました。スイカ割りでは、本物のスイカの代わりにスイカ柄のビーチボールを使用。棒で叩いてスイカ割りの気分を味わいました。また昼間の開催ではありましたが、花火も行いました。派手に光るものを中心に用意し、手持ち花火を楽しんでいただきました。花火を見るのが初めてという方もいらっしゃり、「綺麗だった」と喜んでみえました。

規模を縮小しての開催ではありましたが、提灯などの飾りつけをしたり、「春駒」などの盆踊りの音楽を流すことで、夏祭りの雰囲気を感じていただきました。



▲火花や音、煙でも季節を感じました



▲かき氷、おいしくなあれ!

バーベキュー

10月19日、さくらユニットのベランダにてバーベキューをしました。快晴の空の下、食欲の秋を満喫しました。利用者さまは火をおこして焼いている様子を見ながら、焼きたての香りと雰囲気を楽しんでいた様子でした。施設長が焼いた五平餅とさんまは昼食にいただきました。施設のベランダを活かし、景色を楽しみながら季節を感じるイベントとなりました。



▲秋の味覚満載です

▲秋の味覚を「五感」を使って楽しみました



ハロウィン

ちぎり絵でハロウィン飾りの作成をしました。秋の行事の一つとしてすっかり日本にも定着したハロウィンを皆さまに説明し、季節を感じながらハロウィンについても知っていただきました。作品を作り上げるという目標を持って、皆さま楽しんで作られました。

